

『まなびあい』第16号をお読みになった方へ

『まなびあい』第16号 研究実践奨励賞推薦のお願い

コミュニティ福祉学会事務局

コミュニティ福祉学会では、『まなびあい』掲載論稿のうち、優れた論稿や価値ある実践活動に「研究実践奨励賞」を設け、表彰致します。受賞作選考は学会内に設置される選考委員会において行いますが、読者の方々のご意見を取り入れるため、推薦書を募集しております。今回お配りしました『まなびあい』第16号を読んで応援したい、多くの人に読んでもらいたいと思った論稿を一編選び、その理由とともに、「まなびあい第16号 研究実践奨励賞推薦書」(次頁)にご記入の上、立教大学コミュニティ福祉学会事務局にメールまたはFaxにてご提出ください。推薦書はコミュニティ福祉学部HP (<https://chs.rikkyo.ac.jp/>)にも掲載しています。今回の審査対象原稿は以下5編です。皆様のご意見を広く反映致したく、ご協力をお願い致します。

(論稿番号)

- | | |
|---------|---|
| ① 大城 未裕 | 「エシカルファッションをめぐる研究動向」 |
| ② 宮原 凜 | 「Self Employed Women's Association (SEWA) から見る“抑圧”からの脱却—カテゴリー化の構造を超えた融和の可能性—」 |
| ③ 米山 大雅 | 「美術館とそのコミュニティの問題に関する研究—「開かれている」場所を目指して—」 |
| ④ 齋藤 大陽 | 「表裏一体」 |
| ⑤ 渡邊 早智 | 「医療現場における非COVID-19患者の面会制限と家族の疾病受容への影響」 |

提出先：立教大学コミュニティ福祉学会事務局 cchs@rikkyo.ac.jp Tel&Fax:048-471-7308

〒352-8558 埼玉県新座市北野1-2-26 立教大学コミュニティ福祉研究所内(5号館3階)

提出期限：2024年5月7日(火)